

## 中酪情報 No.531

2011年1月31日発行

毎号奇数月末発行

発行：社団法人 中央酪農会議

編集・発行人：前田浩史

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

TEL：03-3219-2611（代） FAX：03-3219-2622

**ご意見・ご感想をお寄せください。**

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

## 宛先及びお問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部

TEL：03-3219-2611(代) FAX：03-3219-2622

<http://www.dairy.co.jp/>

(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

## 編集後記

新たな年を迎え、皆様にとって本年が幸多き年となりますようお祈りいたしております。昨年は、宮崎県での口蹄疫の発生、前例のない全国的な酷暑、そしてTPP交渉への参加表明など、酪農畜産業界が想定外の諸問題に振り回された一年でした。

とくに口蹄疫問題は、人や物の移動が農業に及ぼす影響を軽視する傾向が定着しつつあることを、またTPP問題は、現政権には輸入自由化に対する国民、とりわけ農業者の拒否反応を過小評価する向きが多いことを露呈しました。

外部要因によって農業者が経済的にも精神的にも大きなダメージを受け、経営離脱が加速することが懸念されます。農業は経験の「継承産業」と言われるとおり、新たな経営者が人並みに稼げるようになるまでには、経営ノウハウの蓄積が必要です。したがって、一度脆弱化した農業生産基盤が回復するには、相当の困難が伴います。

リレーコラムで鈴木先生が指摘するように、外圧による「国益」の損失を、政府も国民も的確に評価していないのではないのでしょうか。